

第59回 暮らしの中の竹工芸展 募集要項

「竹の器と暮らす心豊かな生活」をテーマに別府竹細工の伝統技と生活に潤いをあたえる豊かな造形美を融合した新しい竹工芸品の作品を広く募集します。

主催

竹・ルネサンス実行委員会

共催

別府市、別府竹製品協同組合、大分みらい信用金庫

後援

大分県、別府市議会、別府商工会議所、一般社団法人別府市観光協会、別府竹製品卸商業組合、一般社団法人大分県竹産業文化振興連合会、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、日本フルハップ大分合同新聞社、朝日新聞大分総局、読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社、今日新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、CTBメディア

応募資格

大分県在住でプロ、アマを問わず竹工芸品を作る方ならどなたでも応募できます。

応募規定

- ① 制作後1年以内で他の公募展などに未発表の作品
 - ② 美術性のみならず、産業・生活工芸として日常生活に密着し、「茶・花」「食」「住」「装い」「遊」のジャンルに沿ったもの
 - ③ 販売及び反復生産が可能な作品
 - ④ 応募作品の写真等をホームページ、市報等に掲載することを了承いただけること
- ※ 応募作品のデザインと同一、もしくは類似のものが既にある場合、または他の著作権、工業所有権等の侵害が明らかとなったものは、審査結果公表後であっても受賞を取消すことがあります。

応募料

- 1人、1種1点につき1,000円。ただし、セットの組物は1種1点とみなす。
- 同一応募者が2種以上出品する場合、2種目以降は500円

応募方法及び作品搬入

- 日時 令和5年1月17日(火)～21日(土) 9時～16時(厳守)
- 会場 別府市竹細工伝統産業会館
- 方法 応募料と出品カードを添えて、作品を直接、会場へ持ち込んでください。
ホームページはこちら <https://www.city.beppu.oita.jp/sangyou/sangyousinkou/bambooinnovation/event.html>

ホームページは

こちらから→



作品搬出

- 日時 令和5年2月21日(火)～26日(日) 9時～16時(厳守)
- ※搬出は、出品カード(本人控え)を必ずご持参ください。期限後の管理については責任を負いかねますので、期限内にお願いします。

賞

- | | |
|------------------|----------------|
| 大分県知事賞 | 賞状・副賞(賞金5万円・楯) |
| 別府市長賞 | 賞状・副賞(賞金5万円・楯) |
| 別府竹製品協同組合理事長賞 | 賞状・副賞(賞金3万円・楯) |
| 別府竹製品卸商業組合理事長賞 | 賞状・副賞(賞金3万円・楯) |
| 別府市議会議長賞 | 賞状・副賞(楯) |
| 大分県竹産業文化振興連合会会長賞 | 賞状・副賞(楯) |
| 別府商工会議所会頭賞 | 賞状・副賞(楯) |
| 別府市観光協会会長賞 | 賞状・副賞(楯) |
| 大分合同新聞社社長賞 | 賞状・副賞(楯) |
| 大分みらい信用金庫理事長賞 | 賞状・副賞(楯) |
| 特別賞 | 賞状 |

- 別府市竹細工伝統産業会館の所蔵に値すると判断できる優秀作品1点について、作者と相談の上、主催者が作品を買い取り、別府市に寄贈します。他の賞と重複受賞可能。

特別賞審査基準

- ① 経済産業大臣指定の伝統的工芸品「別府竹細工」の品格を有する作品。ただし、審査員が受賞に値すると認める作品についてはこれにとらわれない。(別府市竹細工伝統産業会館設置の目的に沿い、会館所蔵作品は経済産業大臣指定の伝統的工芸品「別府竹細工」(編組を主とする作品)を推奨する。ただし、伝統を継承しつつ、現代生活に活かせる新しい感覚の作品で、審査員が認めるものについては、前段にとらわれず受賞対象にできる。)

- ② 別府市竹細工伝統産業会館に展示することにより、伝統的工芸品産業の振興及び発展に寄与する作品であること。

MPP賞 (most popular products: 最も人気のある作品) —— 賞状・副賞(楯)

- 会期中、来館者による投票を行い、最多得票作品 1点を表彰する(上記受賞作品は除く。)
- 表彰は会期終了後、別途開催

結果公表及び表彰式

- 日時 令和5年1月31日(火)10時から
 - 会場 別府市竹細工伝統産業会館
- 受賞作品は別府市ホームページで公開します。報道機関への発表および本人へ通知します。

作品展

- 日時 令和5年1月31日(火)から2月19日(日) 8時30分から17時(最終日は16時まで) ※月曜日は休館
 - 会場 別府市竹細工伝統産業会館
- ※受賞の有無に関わらず、出品いただいた全ての作品を展示します。

その他

- 審査講評(審査委員による受賞作品の講評)は、作品展の期間中、常時ビデオ上映します。対面での審査講評はございません。
- 応募者は、展示期間中の観覧料が無料になりますので、応募者PASSをご提示ください。提示なき場合は、観覧料が発生します。